

令和2年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 様

所 属 地域圏防災・減災研究センター
氏 名 川口 淳

活動テーマ	地方自治体における防災・減災に関する地域課題解決のための活動支援
実施期間	令和 2年 5月 16日 ~ 令和 3年 3月 31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>三重県内の全市町の防災担当部署の担当者（三重県防災対策部等の担当者含む）の勉強および情報交換の場として、「地域防災研究会（以下、研究会）」を企画し、最新の情報の提供および県や各市町間の情報共有を行った。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり）</p> <p>テーマについては研究会ごとに、県・市町と相談の上決定しているが、継続的に防災に関する地域課題に即した一つのテーマを深く研究する講習会等を設置し、地域の発展・活性化等へ貢献している。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>三重県（関係部局）および県内すべての29市町（関係部局）の担当者に加え、テーマに応じた話題提供者を招き、勉強会および意見交換会を令和2年度は2回実施した。なお、1回目は当初は7月27日に予定していたが、3月1日に延期した形となった。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>防災に関するさまざまな取組紹介や最新の話題を提供するとともに、地域での防災・減災に関する課題の解決に向けた計画策定等の場面において、大学教員らの防災に関する研究で得られた知見などから助言等を行っている。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域防災研究会：令和3年3月1日（Zoom オンライン）30名 ・第2回地域防災研究会：令和3年3月29日（Zoom オンライン）29名 <p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について</p> <p>大学の研究者が最新の防災分野におけるトレンドや課題などを直接市町や県の防災担当者に情報提供する場は非常に貴重で、一方的な情報提供のみならず、行政の担当者からの質問や要望などを研究者が受け取ることで、今後の政策展開などに活かすことができる。また、大学の研究者、市町および県の防災担当者が介して意見交換をする場を持つことで、災害時にお互い協力し合う関係の構築に寄与している。</p>

○第1回研究会

「地域防災課題解決プロジェクトについて」

・平成30～令和元年度の活動の事例集である手引書、所収の3市の取組、現状の補足について話題提供した。

「コロナ禍における地域防災～この一年の振り返りと今後に向けて～」

・コロナ禍で各市町が「行政的なこと」「地域活動のこと」について工夫したこと、課題となったこと、次年度に向けた方針・提案などについて意見交換を実施した。

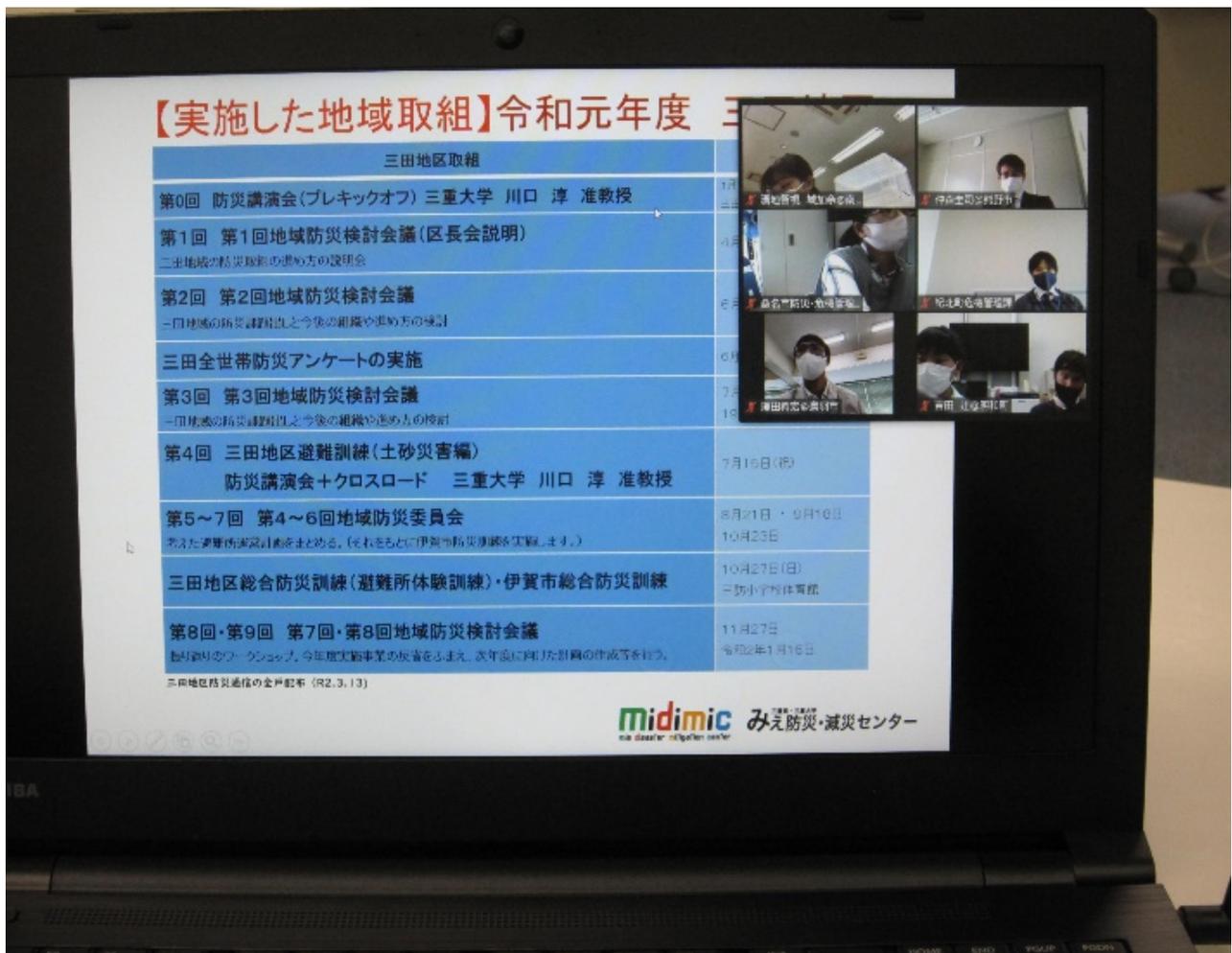
○第2回研究会

「施設・在宅を問わない地域の安心に向けて（避難の促進）」

・みえ防災・減災センターの取組である事例集、県内で積極的に動く市町の取組、国土交通省と連携した訓練の取組などについて話題提供した。

「要配慮者施設の避難対策／ワークショップ」

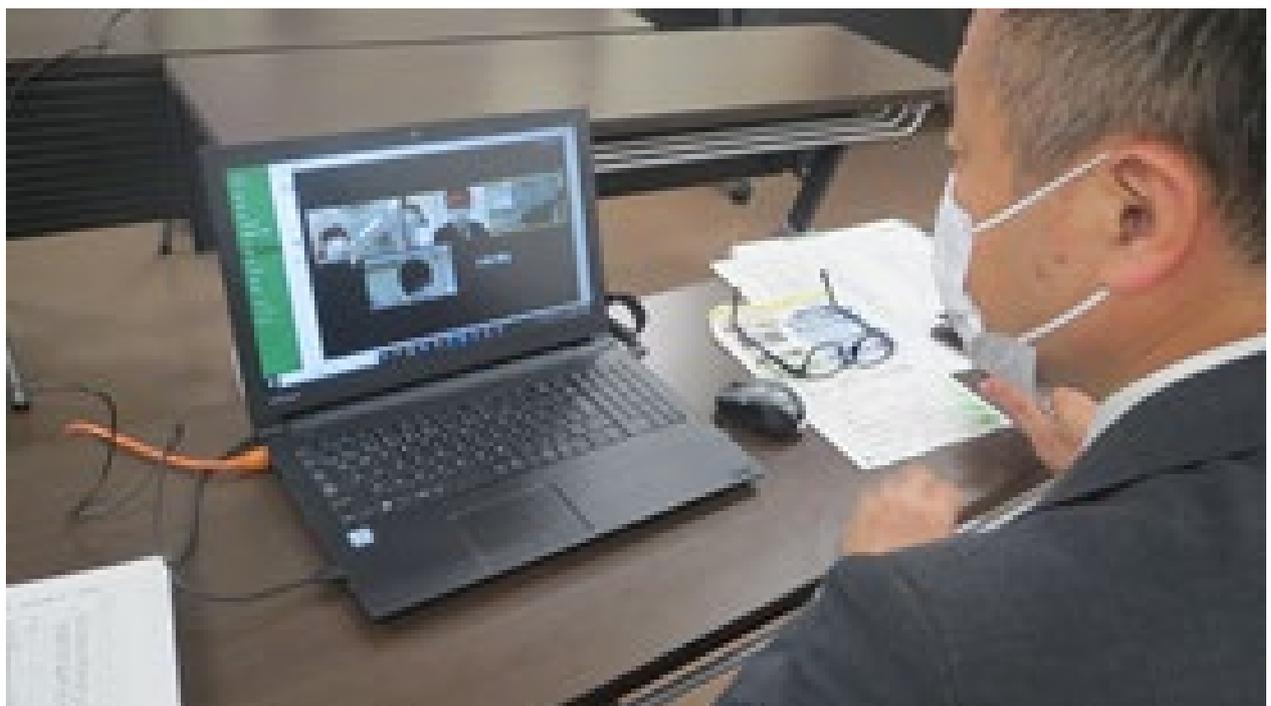
・前半で令和2年7月豪雨を踏まえた高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会の話題提供を行い、後半のワークショップでは班に分かれて避難確保計画と地区防災計画の推進について、意見交換を実施した。



第1回研究会「地域防災課題解決プロジェクトについて」話題提供の様子
(令和3年3月1日)



第2回研究会「要配慮者施設の避難対策」話題提供の様子（令和3年3月29日）



第2回研究会「ワークショップ」の様子（令和3年3月29日）